



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月14日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成25年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,195	△37.9	36	△74.8	19	△90.4	7	△97.8
24年3月期第3四半期	6,545	△48.7	143	—	198	—	331	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △29百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.75	—
24年3月期第3四半期	34.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,025	3,543	44.2
24年3月期	8,638	3,573	41.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,543百万円 24年3月期 3,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,587	△33.6	△19	—	△23	—	△63	—	△6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	9,502,636 株	24年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	14,200 株	24年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	9,488,436 株	24年3月期3Q	9,488,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引方に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績の予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、（添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）の経済情勢は、海外経済では米国は住宅投資や雇用に回復の兆しが見えたものの、欧州経済は長期化する債務問題により景気低迷が継続、また、これまで世界経済を牽引してきた中国やインドにおきましても成長率が鈍化しております。

一方、国内経済は、震災復興需要により一部に景気回復の兆しが見られましたものの、長期的なデフレや円高に加え、雇用情勢・個人消費の低迷が継続しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中で、当社及び当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS（顧客満足）を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。当期は、当社の第3次中期経営計画の最終年に当たり、この計画の総仕上げの年と位置づけ、経営改善諸施策を強力に推進しており、これらの諸施策の効果が着実に黒字基調へと繋がってまいりました。

このような状況下、当社グループの連結売上高は、当社の大型プラントの工事進行基準による売上などがありましたが、4,195百万円（前年同期比35.9%減）となりました。ちなみに、前年同期の売上高には、特需として飼料会社等の震災復興工事に係る多額の売上が含まれております。

また、損益面に関しましては、一部の連結子会社の業績低下はありましたが、営業利益36百万円（前年同期比74.8%減）、経常利益19百万円（前年同期比90.4%減）、四半期純利益7百万円（前年同期比97.8%減）と少額ながらも確実に利益を創出できました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔産業機械関連事業〕

製粉業界は、本年4月には輸入小麦の政府売渡価格が平均15%引下げられ、10月に同3%引き上げられたことから、各製粉会社は7月と12月に業務用小麦粉の価格改定を行っております。また、副製品のふすまの価格は堅調に推移いたしました。

このような中、国内の小麦粉消費の低迷や諸費用等の増加、販売競争激化や消費者の低価格志向などにより、厳しい事業環境下で推移した模様であります。なお、大手製粉会社では、将来に向けたコスト競争力強化のため、最新鋭の製粉工場を建設中であります。

一方、飼料業界では、米国の干ばつによるトウモロコシや大豆などの不作により、主原料の穀物価格が急騰しております。一方で、消費者の低価格志向が一層鮮明になる環境から、原料価格の上昇分を販売価格に十分に反映することができない状況で、さらに東日本大震災の影響も残る中、依然厳しい事業環境にありました。

このような状況のもと、売上高につきましては、牛用配合飼料設備拡充工事、製品タンク増設工事などの各種飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、ピューリファイヤー、シフター、精選諸機械などに、連結子会社株式会社東京製粉機製作所の売上が加わり、売上高は4,160百万円（前年同期比36.0%減）となりました。損益面に関しましては、大型プラントをはじめとする予算管理の徹底や経費削減に努めましたが、一部の子会社の業績低迷があり、営業利益は8百万円（前年同期比92.4%減）となりました。

〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高35百万円（前年同期比15.0%減）、営業利益27百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産に関する状況

i 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,025百万円となり、前連結会計年度末に比較して613百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が25百万円、受取手形及び売掛金が422百万円、仕掛品が71百万円、未収還付法人税等が85百万円、投資有価証券が44百万円減少したことなどによるものであります。

ii 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,481百万円となり、前連結会計年度末に比較して583百万円減少いたしました。これは主に、社債が100百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が599百万円、前受金が124百万円減少したことなどによるものであります。

iii 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,543百万円となり、前連結会計年度末に比較して29百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が7百万円増加したのに対し、その他有価証券評価差額金が36百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました業績予想数値を、本日開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行いました。詳細につきましては、当該開示資料をご参照下さい。

<参考>

通期業績予想数値（平成25年3月14日公表）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	5,587	△19	△23	△63
個別	4,075	△44	△46	△60

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835,916	1,810,141
受取手形及び売掛金	1,622,984	1,200,509
商品及び製品	302,825	294,758
仕掛品	1,267,345	1,195,862
原材料及び貯蔵品	81,909	100,293
その他	135,912	100,783
貸倒引当金	△36,940	△36,639
流動資産合計	5,209,953	4,665,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	379,528	360,072
機械装置及び運搬具（純額）	241,250	231,004
土地	1,500,619	1,500,619
その他（純額）	52,674	55,455
有形固定資産合計	2,174,074	2,147,152
無形固定資産		
のれん	4,975	—
その他	49,837	51,381
無形固定資産合計	54,812	51,381
投資その他の資産		
投資有価証券	1,128,657	1,083,774
その他	133,507	139,396
貸倒引当金	△62,416	△62,178
投資その他の資産合計	1,199,748	1,160,991
固定資産合計	3,428,635	3,359,525
資産合計	8,638,589	8,025,236
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,174,968	1,575,689
短期借入金	932,314	919,634
未払法人税等	1,017	16,365
前受金	312,697	188,015
賞与引当金	17,709	10,864
工事損失引当金	1,909	4,478
その他	101,206	144,926
流動負債合計	3,541,821	2,859,972
固定負債		
社債	—	80,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
長期借入金	1,094,178	1,076,770
退職給付引当金	163,374	184,195
資産除去債務	19,698	19,698
その他	246,333	261,330
固定負債合計	1,523,585	1,621,994
負債合計	5,065,406	4,481,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651,112	4,651,112
利益剰余金	△1,010,428	△1,003,284
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	3,631,742	3,638,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,886	△44,208
為替換算調整勘定	△50,673	△51,408
その他の包括利益累計額合計	△58,559	△95,617
純資産合計	3,573,182	3,543,268
負債純資産合計	8,638,589	8,025,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	6,545,303	4,195,194
売上原価	5,541,764	3,430,607
売上総利益	1,003,539	764,586
販売費及び一般管理費	860,296	728,529
営業利益	143,242	36,057
営業外収益		
受取利息	161	131
受取配当金	13,650	10,799
持分法による投資利益	77,460	—
その他	23,744	13,848
営業外収益合計	115,016	24,779
営業外費用		
支払利息	49,980	29,187
持分法による投資損失	—	8,561
為替差損	838	—
その他	8,689	3,981
営業外費用合計	59,508	41,730
経常利益	198,750	19,106
特別利益		
固定資産売却益	234	3,400
投資有価証券売却益	122,937	—
特別利益合計	123,172	3,400
特別損失		
固定資産除却損	0	900
特別損失合計	0	900
税金等調整前四半期純利益	321,922	21,606
法人税、住民税及び事業税	26,881	16,352
法人税等調整額	△31,901	△1,890
法人税等合計	△5,019	14,462
少数株主損益調整前四半期純利益	326,941	7,144
少数株主損失 (△)	△4,142	—
四半期純利益	331,084	7,144

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,941	7,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,860	△36,322
為替換算調整勘定	△3,966	△735
持分法適用会社に対する持分相当額	△905	—
その他の包括利益合計	△118,732	△37,058
四半期包括利益	208,209	△29,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,677	△29,914
少数株主に係る四半期包括利益	△2,468	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,504,118	41,184	6,545,303	—	6,545,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	900	900	△900	—
計	6,504,118	42,084	6,546,203	△900	6,545,303
セグメント利益	113,456	32,544	146,000	△2,758	143,242

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	4,160,172	35,021	4,195,194	—	4,195,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	857	857	△857	—
計	4,160,172	35,878	4,196,051	△857	4,195,194
セグメント利益	8,582	27,475	36,057	—	36,057

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。